

2026年3月31日

各位

会社名 株式会社 クリーマ
代表者名 代表取締役社長 丸林 耕太郎
(コード番号：4017 東証グロース)
問合せ先 執行役員コーポレートディビジョン GM 伊藤彩紀
(TEL.03-6447-0105)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年4月10日に公表した2026年2月期の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正 (2025年3月1日～2026年2月28日)

	連結売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり連 結当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,755	百万円 100	百万円 99	百万円 66	円 銭 9.88
今回修正予想(B)	2,535	42	66	25	3.80
増減額(B-A)	▲220	▲58	▲33	▲41	—
増減率(%)	▲8.0	▲58.0	▲33.3	▲62.1	—
(ご参考) 前期連結実績 (2025年2月期)	2,507	103	104	103	15.30

2. 修正理由

2026年2月期の業績予想につきましては、主力のマーケットプレイスサービスにおいて、Web 広告市場における広告単価の高騰、検索エンジンのコアアップデートの影響によるSEO ランクの低下、並びに前期より発生している当社ドメインを悪用したなりすましメールの残存影響により、流入数が想定を下回ったことに加え、法令対応として導入した3Dセキュア2.0の影響により一部ユーザーの購買行動に変化が生じたことなどから、流通総額が想定を下回る結果となりました。また、この影響が内部広告等のプラットフォームサービスにおいても成長の下方圧力となりました。

これらの影響により売上の伸びが想定を下回りましたが、当期の注力方針として掲げた「Creema の成長に向けた戦略施策の動員」「収益力/テイクレートの向上」「新サービス投資」については、今後の中長期的な当社の成長を踏まえると、極めて重要な戦略であることから、開発費や外注費を活用した各施策は、計画の範囲内で推進いたしました。これにより、利益が想定を下回ったため、業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しです。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以上